

## 第 5 1 9 回番組審議会報告

開催日 : 令和 5 年 7 月 26 日 (水)  
場所 : 山形グランドホテル  
出席委員 : 柳谷豊彦 委員長／相馬佳苗 副委員長／中川愛美 委員／  
中村出 委員／佐藤善哉 委員／齋藤義紀 委員 (レポート参加)

議事内容 : ◎社側報告

1.挨拶 横沢代表取締役社長

◎審議事項

1.番組・視聴率関連 黒須 取締役編成業務局長兼番組審議会事務局長

2.報道・制作関連 後藤 取締役メディア情報局長 (代読)

3.意見集約

◇ 第 92 回系列番組審議会 委員代表者会議 テーマ

「いま、テレビの役割を問う」

～地域に貢献するメディアであり続けるために～

◎その他

内容 :

山形テレビの第 519 回番組審議会が開かれ、第 92 回系列番組審議会委員代表者会議のテーマ、

「いま、テレビの役割を問う」～地域に貢献するメディアであり続けるために～について意見を交わしました。地上波テレビ局が、地域の活性化や防災・災害対応など、地域が抱える様々な課題の解決に向けて、貢献できることは何か。改めてテレビの役割とは何かについて意見を交わしました。

出席した委員からは、

「テレビは航空会社の客室乗務員に例えられると思う。通常は客（視聴者）の快適さ、満足感を満たすよう番組などを提供するが、緊急事態となれば安全、生命を守るため番組や情報提供を行う。正確な情報、信頼ある情報はテレビならではの。災害、非常時ほど迅速にきめ細かく伝えることを期待する」

「地方テレビ局の役割は大きい。地方の個性が見えなくなるような画一化を防ぐ。その土地でしかわからない当事者目線、当事者にしかわからない背景に迫っていくという点で地方局の優位性がある」

「将来を担う地方の若者たちがその地の魅力に気づき、守り、発展していくための行動を起こすよう、地方に軸足をしっかり置いた報道、ドキュメンタリーなど番組作りを期待したい」

「テレビ局の持つアーカイブ機能。歴史、文化の記録とともに災害、事件、事故の教訓を後世に伝える大事な役割と考える」

「地方に特化した良質な番組を作ってもターゲット、届けたい人に届いていない気がする。訴求する工夫、機会が必要だと思う」

「地上波テレビへの期待は依然として高い。特に高齢化が進む山形県においては尚更で、地域社会への貢献を果たしていくためにも培ってきた制作力、県民からの信頼をもとに課題難題に挑んでいくことが求められている」

「テレビの役割放送の原点に戻り音声や映像文字その技術力が大事 アナウンス、カメラ、文字テロップ等技術の向上に努めていくべき」などの意見がだされました。

以上